

令和7年度 ハイジこども園 自己評価集計（職員評価）

○自己評価から高い評価の項目順位

令和7年度		令和6年度	
① 家庭との連携（在園児）	3.36（1～8）	① 環境、衛生管理	3.27（1～6）
② 健康支援	3.35（1～10）	② 家庭との連携（在園児）	3.23（1～8）
③ 乳児保育のねらいと内容	3.35（1～11）	③ 健康支援	3.18（1～10）
④ 1～3歳児未満のねらいと内容	3.32（1～15）	④ 安全管理	3.16（1～8）
⑤ 安全管理	3.30（1～8）	⑤ 乳児保育のねらいと内容	3.16（1～11）
⑥ 環境、衛生管理	3.21（1～6）	⑥ 1～3歳児未満のねらいと内容	3.12（1～15）
⑦ 食育の推進	3.19（1～10）	⑦ 保育の配慮事項	3.10（1～8）
⑧ 3歳以上児のねらいと内容	3.14（1～16）	⑧ 食育の推進	3.02（1～10）
⑨ 保育の配慮事項	3.13（1～8）	⑨ 3歳以上児のねらいと内容	2.99（1～16）
⑩ 職員の資質向上	3.09（1～10）	⑩ 基本的理念と社会的責任	2.95（1～12）
⑪ 災害対策	3.02（1～9）	⑪ 職員の資質向上	2.95（1～10）
⑫ 基本的理念と社会的責任	3.00（1～12）	⑫ 計画・評価・育ちの見通し	2.93（1～9）
⑬ 特別支援・障がい児保育	2.97（1～8）	⑬ 災害対策	2.88（1～9）
⑭ 計画・評価・育ちの見通し	2.92（1～9）	⑭ 特別支援・障がい児保育	2.77（1～8）
⑮ 家庭との連携（地域）	2.78（1～6）	⑮ 家庭との連携（地域）	2.52（1～6）

※（ ）内の数字は設問の数です。

令和7年度 ハイジこども園総括

①評価結果について

令和7年度の職員自己評価では、15項目中11項目が「ほぼ十分にできている」という評価となり、全体として高い水準の結果となりました。

これは、園の教育・保育目標や方針が職員に十分理解され、共通認識のもとで日々の保育・教育活動が実践されていることを示していると考えています。

多くの職員が自身を持って保育・教育に取り組んでいることがうかがえる結果となりました。

特に高い評価となったのは、「家庭との連携（在園児）」「健康支援」「乳児保育のねらいと内容」でした。

「家庭との連携」については、子どもの成長や発達について保護者と情報を共有し、協力しながら支援することの重要性を職員が理解し、実践できていることが評価につながったと考えています。

また、子どもの生命や健康に関わる項目の「健康支援」や「乳児保育のねらいと内容」についても高い評価となり、安全で安心できる保育環境づくりが職員間で共有されていることを確認することができました。今後も継続して取り組みを充実させていきます。

②前年度との比較

令和6年度は、新型コロナウイルス感染症対策の影響もあり、「環境・衛生管理」や「健康支援」が特に重視されていました。

一方、令和7年度は感染症対策を継続しながらも、保育内容や教育活動そのものの充実へと重点が移り、「家庭との連携」や「乳児保育」「保育内容」に関する項目の評価が高くなりました。園として、本来の教育・保育活動の充実に向けた取り組みが進んでいることがうかがえます。

③今後の課題として

保育教育の基本的な知識・技術としての「計画・評価・育ちの見通し」に関して、保育教諭の評価として理想的な状態では十分できてないと考えている。

年度途中で評価、振り返りを行い、それぞれの保育教諭が書かれている課題について話し合いを持つ場面を設定し、具体的な解決策を検討していく。また、その他の項目についてもスキルアップできるように、保育教諭の研修や園内研修等を強化していく。

本園では、子育て支援事業の充実に継続して取り組んでおり、参加者も定着し、保護者の皆様から感謝の声をいただいています。

今後も子育て支援の内容をさらに充実させるとともに、園の教育・保育活動や行事の様子を地域へ広く発信し、地域社会とのつながりを深める取り組みを進めていきます。